

和をもって

第31号

発行
成相山成相寺

京都府宮津市字成相寺339

TEL0772-27-0018

<http://www.nariaiji.jp/>

般若心経現代訳

走り梅雨のくずついた天候から、梅雨入りがすぐそこまで来ているのを感じます。

皆々様、お元気でお過ごしですか。お伺い申し上げます。

以前、般若心経の現代語訳を掲載させていただいたので、今回はその続きから解説し皆様とより理解を深めていきたいと思ひます。

「仏説摩訶般若波羅蜜多心経」

まずこのお経のタイトルになります。訳によってはこの「仏説」や「摩訶」の部分が無かったりします。

「仏が説いた凄い般若波羅蜜多のお経」という意味になり、以降の内容の語り手がお釈迦様になります。また先程の「仏説」が付いてないパターンではこの後に出てくる「観自在菩薩」が語り手ということになります。お釈迦様か観音様かの違いですが、個人的にはお釈迦様の方がなんとなくしっくりきます。

「観自在菩薩」

観音様のことですね。正式名が観自在菩薩といます。馴染みのある仏様ですがどんな仏様かといいますと、既に悟っているけども、自分は悟りの世界へ行かないで、我々が悟るために色々なことを教えてくれる仏様です。

簡単に説明しましたがこれは中々難しいことです。

我々はどうしても人より得意なことや、知っていることがあるとつい威張ってしまうものです。究極の真理を得ながらも最後の最後まで我々を救い続けて、仏の教えを伝えてくれるわけですから並大抵の事ではありませんね。何を教えてくれるかはこの先の本文の内容になります。

佛説摩訶般若波羅蜜多心経
観自在菩薩行深般若波羅蜜多時
亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅
界乃至無意識界無無明亦無無明盡乃至無老死亦無老死盡
蜜多故心無罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢想究竟涅槃
獲三菩提故知般若波羅蜜多是大神呪是大明呪是無上咒是無上
羅蜜多呪即說呪曰 揭諦揭諦 波羅揭諦 波羅揭諦 菩薩
般若心経 平成四年閏壬申 成相寺長老丈信公上人首書

内容になります。

「行深般若波羅蜜多時」

先程の観音様が、「深秘である般若波羅蜜多の修行をした時。」となります。

「般若波羅蜜多」というのは、サンスクリット語の音写です。大事なところなので訳さないで音の響きを大事にしよう。といったことでサンスクリット語のままになっています。

「般若」はブラジュニヤの音写で、「智慧」という意味です。結構無理矢理感のある音写ですが、パーリ語ではパンニヤとなるのでギリセーフといったところですね。

「波羅蜜多」はパーラミターの音写です。「彼岸へ渡る」という意味になります。彼岸とは悟りの世界のことを言います。反対に我々のいる世界を此岸と言ったりますね。

まとめて訳すと、「悟りの世界へ行く為の智慧」だとか、「智慧の完成」となります。

今回はここまでとさせていただきます。皆様日々のお勤めでお唱えする般若心経をより身近に感じていただくことで、より功德に繋がることを心よりご祈念申し上げます。

南無観世音菩薩 合掌

副住職 龍眞

納経所便り

今回は副住職の妻、石坪理英子をご紹介します。



私は大阪の枚方市で育ちました。お寺とはあまり縁のない生活を送ってきたので、結婚してからは毎日が学びの日々でございます。昨年の四月から、本格的に納経所で仕事をする機会が増え、毎日お参りの方とご挨拶したり、時には世間話をしたり、楽しくお仕事をさせていただいています。夫（副住職）には、結婚した当初から西国巡礼に連れていってほしい、説明案内をしてもらったり、大きく言うと仏教についてかみ砕いて色々お話をしてもらいました。子育て

きた成果か、寝る前は必ず仏さまに手を合わせ「のんのんさん、おやすみなさい。今日もありがとうございました」と言えるようになりました。習慣と言うのはすごいですね。成相寺は歴史の古く、多くの方々を守られてきたお寺です。若い世代の方々にも、お寺に是非ご興味を持っていただき多くの方に参拝してもらえるように、微力ながら私も頑張っていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

石坪 理英子

てをしながらの私の頭は、中々話に集中できず、まだ話の半分も理解できていませんが、勉強熱心な夫に感化され、今では私も色々質問し、学びたい気持ちで日々過ごしています。今ではやんちゃ盛りの三人の男の子達も、赤ちゃんの頃から続けて



もみじ谷

現在、もみじ谷とよばれるこの谷は山門から少し上がった参道の脇にあり、成相寺塔頭寺院のひとつ、惣持院があつた場所でもあります。

空が見えないほどに豊かなモミジでおおわれ、この度初めて開催されました「骨もみじ祭ライトアップ」のメイン会場にもなりました。平成16年の台風の被害で人が立ち入ることができなかつた状態でしたが、当山職員の嶋崎氏達の手により整備され、風光明媚な遊歩道として復活を遂げました。成相寺にお参りの際には是非散策してみてください。